

なら健康長寿基本計画推進戦略会議について  
(実施の概要)

1. 開催日時 平成29年5月8日(月)午後2時00分～4時00分
2. 開催場所 奈良県経済倶楽部 5階 大会議室
3. 出席委員 荒井知事(会長)、上田裕一(県総合医療センター総長)、西内啓(統計家)、西川均(県議会議員(厚生委員長))、吉本清信(山添村国民健康保険直営診療所 元所長) 5人出席、3人欠席
4. 議事内容
  - (1) 重点健康指標の現状と今後の取組に対する評価について
  - (2) 今後の健康長寿施策についての提言

委員からの主な意見

【健康づくりの推進】

- 減塩は高血圧対策に絶対有効。減塩対策は是非継続を。
- 運動習慣は、高齢期、壮年期、学齢期、就学前期と年代別に展開した方がよいと思うが、理論やエビデンスがない。
- 長野は野菜摂取のほか保健師活動が活発。保健師による訪問活動は重要な要素。
- 高齢者就業率を高めることも、大きな健康のポイント。

【介護予防の推進】

- 健康な人の運動習慣の取り組みと、高齢者の筋力低下予防は区別して取り組む必要がある。
- 短期間で要介護期間を短縮するには、脳梗塞の回避と転倒防止骨折防止の対策がより効果的。女性は特に骨折が問題になってくる。

【データ分析】

- 統計は、原因と結果を示し、説得力を増すことが役割。
- 塩分摂取と脳梗塞や8020達成者の20本残すまでの努力などに関し、健康と生活習慣の相関を分析できないか。

【終末期について】

- 今後は終末期をどう過ごすかが大切になってくる。
- 終末期においては、保健師、訪問看護師、在宅医師の役割が大事。
- 複数の医療機関から多種の薬を処方されている人に指導するなど、薬剤師の役割も大きい。

【その他】

- 国保の県単位化に併せて、市町村が取り組むインセンティブとなるような仕組みや取組の検討が求められる。